

西新宿五丁目マネジメントPJ

『西新宿の空地の活用から醸成するコミュニティ』

活動地域

東京都新宿区西新宿五丁目

活動期間

2020年～継続中

活動体制

工学院大学 野澤研究室
 アールアンドディ新建築都市研究所
 COTONA.Inc.株式会社コトナ

活動キーワード

中心市街地 暫定利用
 エリアマネジメント

活動メンバー

M1 芹澤啓昭 高橋豪太
 柳澤加奈
 B3 齋藤桃乃 花房実結



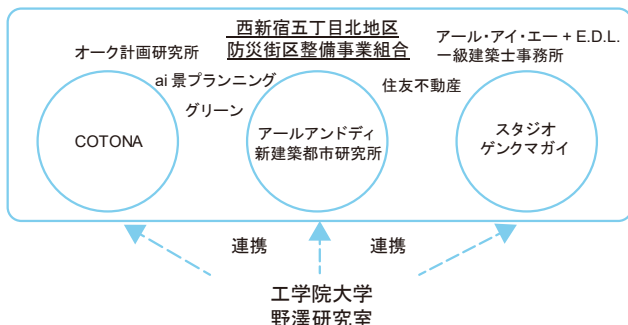
活動概要

西新宿五丁目で行われている「西新宿五丁目北地区防災街区整備事業」によって老朽木造住宅等の建替え促進、防災性向上、住環境の整備が進められている。将来に渡って、多くの人に愛され、住み継がれる街をつくり、新旧住民、若者からお年寄りまでが愛着と誇りの感じられるまちであってほしいとの願いを込めて「世代を超えて喜ばれるまち」というまちづくりビジョンを掲げ再開発事業を進めている。この地区の前面には開発に際して行われたセットバックによる歩道上空地が存在する。この空間を再開発整備の段階から実験的にワークショップ等を行うことで、従前居住者と新規住民の持続的なコミュニティ醸成する機会を創出し、エリアマネジメントを将来を行っていくうえでの基礎を築く。



活動経緯

都心部では数多く行われている再開発事業において高層マンション等が建てられ、そこに居住する人々のコミュニティが希薄になるという問題が挙げられる。そこでこのプロジェクトでは整備の段階からまちびらきまで間にコミュニティ醸成のための基盤づくりとなる活動を行う。



これまでの活動

2020

工事中に土地の一部を利用した100の実験や未来について考えるワークショップを行った。

2021

プロジェクト再始動のためにオンラインでの顔合わせを行った。

2022

3回の懇談会を行い、道路状空地の活用方法について検討し、イベント内容を決定した。



歩道状空地①



歩道状空地②



打ち合わせの様子



新宿の歴史衝立

今年度の活動内容

1月7日に新体制での顔合わせをアールアンドディの事務所で行った。2023年のまちびらきに向けて工事の際にセットバックして得られた道路状空地を利用した活動をするために左近山の事例を基に西新宿で考えられることを話し合った。1月28日に行われた打ち合わせではより詳細な活動内容の決定するために目的、ターゲットを明確にし、4月初旬に開催するためのスケジュールの確認等を行った。

01 再開発事業と活動内容の共有

【第1回打ち合わせ】

プロジェクトの始動にあたり顔合わせを行った。西新宿五丁目で行われている再開発事業についての概要の説明を受け、対象地区でのエリマネ活動目標についての共有を行った。

エリマネ活動目標

- ①防災力・防犯力を高めるために、各タワマンの横の繋がりを増やす
- ②地域コミュニティ促進のためのイベントを開催
- ③公共施設、植栽の管理

02 歩道上空地の活用法の検討

【第2回打ち合わせ】

1月7日に行われた新年の顔合わせを含めたの打ち合わせではスタジオゲクマガイの熊谷さんが左近山団地の行っているマネジメント手法について紹介していただき、西新宿五丁目イベント行う際に留意すべき点等を確認した。

【第3・4回打ち合わせ】

具体的な目的を明らかにし、そのために有効なイベント内容について検討した。また、活動周知のための広報活動や研究的な視点からアクティビティ調査等も行うことも可能性として示した。

目的

- ・ エリアマネジメントの周知

対象

- ・ 西新宿近辺に通勤、通学に来る社会人や学生
- ・ SNSを利用した学生の友人等広く世間に対して

内容

- ・ 外部の方の興味を引くためのとがった企画
- ・ 工事現場との企画



日常

西新宿五丁目近辺に通勤通学するような社会人や学生を対象として恒常的に設置できるものを検討 (ex. 植栽、ガチャガチャ)

特別

春と秋の2回を目処に歩道上空地に工事現場で利用されなかった材木を用いた家具の設置やキッチンカーを呼ぶといったイベントを開催

来年度の活動内容

【春のイベント】

4月6日～4月8日で休憩所の設置やモルックを使ったイベントを開催予定。モルックは従前の樹木を再利用して作成することも視野に入れ作成段階からイベントへの参加も考えている。



【今後のイベントイメージ】

